

輝城会広報誌

第15号

2024年1月

○新年のご挨拶

輝城会グループ

代表 西松 輝高

○RUN伴ぐんま2023

認知症になっても安心して
暮らせるぐんまへ

○施設紹介

吾妻地区

居宅介護支援事業所統合について

○施設紹介

ぬまたとね総合在宅ケアセンター
失語症・言語訓練特化型デイサービス

○住民公開講座のご案内

本年度は現地開催です。

たくみの里わらアート
撮影日：令和5年12月8日

本年一月一日に発生した「令和六年能登半島地震」により被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の一刻も早い復旧及び復興をお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

輝城会グループ代表

西松 輝高



明けましておめでとうございませす。

二〇二四年の幕開けに際し、皆様には健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年中は輝城会グループの事業にご理解とご協力をたまわり心より御礼申し上げます。

【ウイズコロナへと舵を切った

二〇二三年を振り返って

二〇二三年五月八日、新型コロナウイルス感染症はわが国の感染症法上における位置付けが、それまでの二類感染症から季節性インフルエンザと同等の五類感染症に変更されました。二〇二〇年一月十五日にわが国で初めて新型コロナウイルス感染症患者が確認され、その年の四月七日に全都道府県を対象とした緊急事態宣言が発令されてから、実に三年あまりの時間を経て、ようやく私たちはウイズ

コロナへと舵を切る一步を踏み出すことができました。

この三年間、当グループにおいても病院や介護保険施設でクラスターが発生しましたが、そのたびにグループの総力を挙げて早期の沈静化を図り、患者さんや利用者さんへの影響を最小限にとどめるための懸命な努力をしてきました。また医療（介護）従事者として私生活においても徹底した感染対策を貫き、家族が感染した際には法人が用意したアパートで隔離生活を送るなどして互いに助け合い、支え合いながら各事業所を守ってくれた職員には、深く感謝し、またあらためて敬意を表します。

五類感染症となった今でもウイルスは変異を繰り返し、これからも油断できない状況が続きますが、この三年間に経験した辛いことや困難と対峙したことは、輝城会グループの職員を一層強く、逞しく

成長させる糧となると思います。

そのような苦難と我慢の時間が続いた二〇二三年でしたが、年明け早々の一月には、沼田市東原新町にある東原事業所（訪問看護ステーションまつかぜ、ホームケアまつかぜ、システムマネジメント部門、みずほヘルスケア入居）の建物の老朽化に伴い、次の移転先が正式に決まるまでの暫定措置として、昭和村系井にある旧JA系之瀬の跡地に事業所を移転させました。冬の寒い時期にもかかわらず準備から実施まで短期間で見事に移転作業をやり遂げた職員の機動力と団結力には、あらためて感服させられました。また新年度を迎えた四月には、沼田脳外と沼田クリニクの二か所で実施していた通所リハビリテーションを沼田クリニクに統合し、同一施設で時間区分の異なる通所リハビリを一体的に提供する体制を作りました。

これにより在宅の利用者さんへの支援体制強化、切れ目ないサービス支援の徹底、相談体制のさらなる強化などを実現しました。一方沼田脳外では、コロナ禍の二〇二二年十二月に受審した日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新認定が五月に届けられ、コロナ禍にあっても平時と変わらずに安全で質の高い医療を提供し続けた職員のたゆみない努力が報われたものとして誇りに思いました。さらに夏の盛りりの八月には、吾妻脳外のMRIをシーメンス社製の新しい1.5テスラ装置に入れ替え、ヘリウムレスによる経費削減効果や患者さんに優しい騒音抑制と短時間撮影を実現しながら、高画質の画像を描出することを可能にし、快適な検査環境と診断・治療に一層有益な情報を提供できるようにしました。

また同月に、菜の花館園原では

共用型認知症対応型デイサービス事業を開始していますが、低料金ながら特養やショート、デイの利用者さんと一体になり、同じ職員による統一したきめ細かいケアを提供できることから、利用者さんにより一層満足していただけるよう創意工夫を凝らし、ますます明るく楽しい施設づくりに奮闘しています。翌九月には沼田脳外が県内で十八施設、北毛では唯一の

「紹介受診重点医療機関」として群馬県より公表されました。今後さらに進展する外来機能分化を踏まえ、自院の立ち位置を地域に明確に示しながら、沼田脳外が地域連携の旗振り役を務めることで社会医療法人の地域貢献の一助となるよう今後も邁進します。

【明るく希望に満ちた

二〇二四年を目指して】

ご周知のとおり二〇二三年は、終わりの見えないロシアのウクライナ侵攻に加え、イスラエルとハマスの対立によるパレスチナ自治区での紛争や世界規模の気候変動の影響によって、光熱費を筆頭に過去三十年で経験のない物価上昇に見舞われたほか、コロナウイルスの影響を受け続けた医療機関の経営は困難を極めた一年となりま

した。

そのような状況のなか、十二月十五日に示された二〇二四年度診療報酬改定では、診療報酬本体の改定率がプラス0.88%となり、前々回（二〇二〇年度）のプラス0.55%、前回（二〇二二年度）のプラス0.43%を上回って、過去十年で最も高い改定率となりました。この本体プラスの多くは医師や看護師などの人件費に回す原資となり、医療従事者の処遇改善が進められる見込みです。ただし薬価に関しては、二〇二三年九月に実施された薬価調査で平均乖離率（薬価と実際の納入価との差）が6.0%という結果から、マイナス1.0%の切り下げが行われるため、ネットではマイナス0.12%と五回連続の引き下げとなりました。患者さんの利便性や経済面に配慮して院内調剤を続ける医療機関には、毎年実施される薬価の切り下げが経営を直撃する一方で、国が進める後発医薬品の普及という政策にも逆行します。後発医薬品メーカーは薬品を造れば造るほど赤字となり、疲弊したメーカーによる生産過程の不正を誘発し、外資系企業も日本の医薬品市場を見限ることは必至で、日本の創薬力低下は免れず、わが国の

医薬品産業が世界に大きく後れを取ることにつながります。このように二〇二四年も明るい見通しを立てにくい現状ですが、輝城会グループでは、昨年まで週一回の非常勤だった群馬大学名誉教授の西山正彦先生を常勤医師に迎え、

「輝城会参与」としてへき地診療や訪問診療、健診事業などを通じて地域医療に一層大きく貢献していただきます。また認知症に関しては二〇二四年一月一日に「認知症基本法」が施行されましたが、この法律に謳われた六つの基本理念のうちの三項目、すなわち「適切な保健医療・福祉サービス提供」「本人や家族の相談体制整備」「予防や診断、治療、リハビリの研究」については輝城会が今後一層力を入れていくべき事項だと理解しています。なかでも「予防や診断、治療」に関し、昨年十二月二十日、アルツハイマー型認知症に対する新たな治療薬が発売されました。この薬はアルツハイマー病の原因に働きかける世界初の治療薬として世界各国から大きな期待が寄せられています。いくつかの危惧される副作用もあるため、当グループでは年明け早々にこの薬の投与に安全かつ適切に対処するための多職種によるP・T（プ

ロジェクトチーム）を立ち上げ、新たなステージを迎えた認知症治療にいち早く対応することで、認知症の予防という新たな地域貢献に向けたチャレンジにグループの総力を挙げて取り組みます。それ

には沼田脳外に高スペック（3テスラ）のMRIを導入する計画や、国が今年から試行する医療情報の共通基盤構築の進捗を睨みながらの電子カルテ導入準備と、これに関連した介護施設との患者（利用者）情報共有のためのシステム構築など、二〇二四年も課題が山積しています。しかしながら何をすすめるにも根底には、患者（利用者）さんに安全で質の高い医療（介護）を安価に提供することで地域に貢献し、地域から信頼されること、という輝城会の基本理念があります。本年もこの基本を忘れることなく、幾多の困難と向き合い、苦しみもがきながらも明るく希望に満ちた一年となるよう職員一同邁進してまいりますので、相変わらぬご指導、ご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



認知症になっても 安心して暮らせるぐんまへ

RUN伴とは、二〇一一年より「誰もが暮らしやすい地域作り」をコンセプトに始まった、認知症の人や家族、医療福祉関係者がタスキを繋いで日本全国を縦断するイベントです。

群馬県では、各エリアごとにスタート地点からタスキを繋ぎ、県庁を目指します。題目「認知症になっても安心して暮らせるぐんまへ」は、RUN伴+ぐんまのスローガンです。輝城会及びなごみの杜の各事業所では、二〇一六年開催のRUN伴+ぐんまから沼田エリア・東吾妻エリアで参加しています。新型コロナウイルス感染防止のため活動を自粛していましたが、二〇二三年十月二十日、四年ぶりの開催に参加することができました。

沼田地区では特別養護老人ホーム菜の花館をスタートし、各事業所を回りながらゴールの沼田市役所までタスキを繋ぎました。事前に利用者さんと一緒にオレンジ色のグッズを用意し、当日は職員が走ったり利用者さんと歩いたり、芋煮を振舞ったりと一日楽しく参加することができました。今年も、実行委員の方より「他でやっていない取り組みを考えると欲しい」との要望があり、特別養護老人ホーム菜の花館の近隣にある昭和村立東小学校の四年生に沿道での応援に参加していただき、後日、認知症について知ってもらうことをテーマに出前講座を開催しました。児童からたくさん質問を頂きましたが、その中に「なぜオレンジ色なんですか？」という質問があ

りました。これは正確には

「柿色」です。江戸時代に活躍した陶工・酒井田柿右衛門が、夕暮れの深くて豊かな柿の實の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵陶器が海外で高い評価を受けたことから、オレンジ色を認知症のシンボルカラーとして「日本から世界に発信していく」という願いが込められています。

五人に一人が認知症になる時代。子供たちが誤解や偏見

なく認知症について正しく理解してくれることを願い、私たちも取り組みを継続していきたいと思っています。二〇二三年RUN伴の様子は、グループのホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。最後にRUN伴を通して得られたたくさんの方のご縁に感謝し、地域でこの活動を広めていくことに貢献できたら幸いです。

文責 みんなんち園原

吉野 公美



みんなんち園原
ウェブサイトQRコード



こちらからRUN伴の様子を
ご覧いただけます。

吾妻地区 居宅介護支援事業所統合について

吾妻地区の居宅介護支援事業は、東吾妻町地区のかがやき在宅ケアセンター（あがつま在宅ケアセンター事務所内）と、中之条町地区のみんなの家なかんじよで実施してきましたが、みんなの家なかんじよで実施している居宅介護支援事業については令和五年十一月三十日をもって休止し、この度令和五年十二月一日より『かがやき在宅ケアセンター』に統合、吾妻地区の居宅介護支援事業を一か所で実施することになりました。また、これを機にあがつま在宅ケアセンター敷地内に移設したトレーラーハウスを事務所として活用し、『かがやき在宅ケアセンター居宅介護支援事業

所』として再出発しました。居宅介護支援は介護保険サービスとの連携が重要であり、可能な限り自立した生活を送るためのマネジメントが必要です。そのためには、日常生活において他の介護事業所や医療機関、行政等と相談や連携を密にすることが重要であり、ケアマネジメントの質の向上も不可欠です。今回吾妻地区の居宅介護支援事業を一本化したことで、事業所には主任ケアマネジャー三名、看護師、介護福祉士、理学療法士等四名の計七名と多職種のアマネジャーを配置し、各職種の視点や知見を活かして連携をはかりながら困難事例にも積極的に対応していま



す。今後は、地域住民や行政から気軽に相談され、頼られる介護サービスの拠点としての役割を果たせるよう心掛け、地域で必要とされる居宅介護支援事業所を目指し、より質の高いケアマネジメントを提

供できるよう努力していきたいと思っています。トレーラーハウスの事務所は珍しく、入口の階段は職員の手作りです。近くに来た際は是非立ち寄りください。お待ちしております。

文責 かがやき在宅ケアセンター
宮崎 ひろ美

ぬまたとね総合在宅ケアセンター 失語症・言語訓練特化型 デイサービス



失語症・言語訓練特化型 デイサービスの紹介

ぬまたとね総合在宅ケアセンターは、平成十二年より一般型デイサービスを開設し、平成十八年に認知症対応型デイサービス、平成三十年には群馬県で初となる言語障害に特化した失語症・言語訓練特化型デイサービス（以下…失語症デイ）を開設いたしました。今回は、毎週月曜日と水曜日の週二回営業をしている失語症デイについてご紹介させていただきます。

当事業所

の失語症デイでは、
【居たい←
行きたい←
生きたい】
と感じてい
ただけるよ



う、居心地の良い環境づくりを目指して職員一同サービス提供に努めています。関連施設の沼田脳神経外科循環器科病院から専門職である言語聴覚士を派遣してもらい、専門的な集団でのリハビリを提供することで、利用者さんがそれぞれに感じている言葉に対する障害や不安をみんなで共有し、乗り越えていくことで生きがいや生活の質向上を図っていけるよう支援していきます。また、失語症デイは一日の利用定員が最大十名と少人数制となっているため、一人一人が密に関わりをもてるというところも魅力の一つです。



失語症デイでの一日の流れ

まず、事業所へお越しただいですぐ、血圧測定や体温測定などの体調確認を行います。皆さんが揃いましたら、自己紹介カードを使用し、ご自身の氏名や体調のこと、家族のことや日常のうれしかったこと、悲しかったことを言葉にして相手に伝えていきます。もちろん言語聴覚士や介護職員が介入し、その都度フォローに入らせていただきます。その他、集団リハビリテーションとして歌を歌いながら体を動かしたり、昼食に向けて口腔体操を実施していきます。お食事の時間についても、利用者さんの中には嚥下機能が低下し、誤嚥のリスクがある方もおられるため、ニードに合わせ

て言語聴覚士が嚥下評価や嚥下訓練も行っています。午後は机上で出来るカードゲームや発語を促すためのグループトークなどを実施し、おやつを食べて本日の振り返りをしてからご帰宅の流れとなります。

失語症デイの介護サービス開始から今年で六年目を迎えようとしています。少しずつではありますが、各居宅介護支援事業所のケアマネジャーや他事業所にも当事業所の取り組みが周知されてきております。今後も地域の皆さまに選ばれる事業所を目指し、また利用者さんの生活の質向上のため、日々励んでまいります。ご自身の周りでは言葉の障害で悩まれている方がおりましたら、ぜひご相談いただければと思います。

文責 ぬまたとね総合在宅ケアセンター
内山 信久

本年度は現地開催です

吾妻脳神経外科循環器科 認知症疾患医療センターでは地域住民に対し、認知症についての理解促進に向けた普及啓発を目的に、毎年「住民公開講座」を開催しています。新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため2020年以降はWEBにて開催していましたが、4年ぶりに現地開催をいたします。

住民公開講座

『～認知症に寄り添い、住み慣れた地域で暮らす～』

日時 2024年4月21日(日) 14:00～16:00

場所 草津町総合保健福祉センター 2階介護教室

住所 吾妻郡草津町草津464-28

入場料 無料

定員 50名

申し込み方法

QRコードのリンク先である「住民公開講座申し込みフォーム」に『氏名(代表者)、電話番号、メールアドレス、参加人数、メッセージ(任意)』を入力してお申し込みください。

QRコードでのお申し込みが難しい場合はお電話でも受け付けております。

定員になり次第、お申し込みは締め切らせていただきます。



【お申し込み先】

群馬県認知症疾患医療センター 吾妻脳神経外科循環器科

TEL: 0279-68-5211 FAX: 0279-68-5361

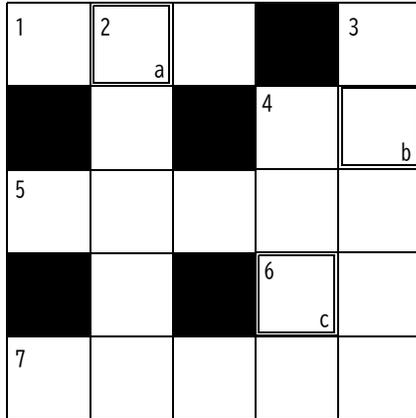
●2019年住民公開講座の様子



2019年11月17日(日)
高山村いぶき会館
参加者約130名

クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギをヒントに解きます。
二重線で囲まれた a～c 文字を並べ変えてできる言葉が答えです。



答え

a	b	c
---	---	---

提供元：クロスワード.jp 改

タテのカギ

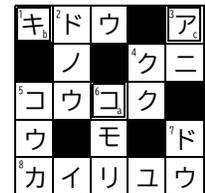
- 2 両方とも成り立つこと。同時に二つもできること。
- 3 食用の牛の肉。
- 4 昼と夜。

ヨコのカギ

- 1 とりたててすぐれたところ。長所。
- 4 病気・けがなどが治ること。
- 5 労働や仕事・骨折りなどに対する謝礼の金銭・物品。お礼。返礼。
- 6 まるい体に多数のトゲがはえている海の生き物。
- 7 物事の決まりをはっきりとつけること。

前回の
クロスワードパズル

答え コキア



輝城会グループ

医療施設

沼田脳神経外科循環器科病院
〒378-0014 沼田市栄町8
TEL 0278-22-5052
(ドック直通)0120-40-2288

沼田クリニック
〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-22-1188

沼田クリニック 歯科
〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-30-3003

吾妻脳神経外科循環器科
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町760-1
TEL 0279-68-5211

城西クリニック
〒371-0033 前橋市国領町二丁目13-23
TEL 027-234-7321

特別養護老人ホーム菜の花館
〒379-1203 利根郡昭和村大字系井1757-311
TEL 0278-30-3331

菜の花館園原
〒378-0324 沼田市利根町園原870
TEL 0278-56-9200

介護施設

訪問看護ステーションまつかぜ
〒379-1203 利根郡昭和村大字系井1223
TEL 0278-22-6153
(居宅直通)0278-25-4401

ホームケアまつかぜ
〒379-1203 利根郡昭和村大字系井1223
TEL 0278-20-1185

ぬまたとね総合在宅ケアセンター
〒378-0015 沼田市戸鹿野町238-1
TEL 0278-23-2526

グループホーム沼田公園前
〒378-0042 沼田市西倉内町658
TEL 0278-30-2201

輝城会重度介護支援センター
〒378-0053 沼田市東原新町1442-7
TEL 0278-22-1040

かがやき訪問看護ステーション前橋
〒371-0034 前橋市昭和町三丁目6-15
TEL 027-288-0573

みんなんち園原
〒378-0324 沼田市利根町園原871
TEL 0278-56-9210

菜の花館本町通り
〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-5551

あがつま在宅ケアセンター
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-68-5488
(訪問介護直通)0279-25-8131

かがやき在宅ケアセンター
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-26-2680

みんなの家なかんじょ
〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町967
TEL 0279-75-4165

なかんじょ在宅ケアセンター
〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5
TEL 0279-75-2800

かがやき訪問看護ステーション
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町5278
TEL 0279-25-8110

かがやき訪問看護ステーション渋川
〒377-0008 渋川市渋川1192-1 上毛ビル2F
TEL 0279-26-7268

**ナーシングケア本町通り
なのはな訪問看護ステーション**
〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-3355

輝城会となごみの杜広報誌『輝城会広報誌』では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

- お名前などの個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿いただいても結構です。
また、診療に関する個人的な質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・はがきなどの場合 〒378-0014 群馬県沼田市栄町8番地 輝城会グループ 広報
 - ・電子メールの場合 public-relations@kijokai.or.jp



<https://kijokai.or.jp/>